

辞書を活用して登場人物や場面についての読みを深めよう

大人になれなかった弟たちに 米倉 斉加年

1、単元設定の理由

文学的文章を読む学習で辞書を使い意味調べは行っているが辞書的な意味を考えさせるだけで文脈上の意味まで深く触れていない。ここでは辞書を引き、多様な語句を理解することによって文章中の登場人物の気持ちや場面などの内容の理解に役立てていきたい。また文章中の語彙に関心をもたせたい。

2、教材名

大人になれなかつた弟たちに 米倉 斉加年（光村図書 1年）

辞書 ベネッセ新修国語辞典 第二版

3、単元目標

- (1) 文脈の中における語句の意味を的確にとらえ理解することができる。(読む能力)
- (2) 登場人物の描写に注意して読み、内容の理解に役立てることができる。(読む能力)
- (3) 事象や行為など表す多様な語句について理解を深めるとともに、話や文章の中の語彙について関心をもつことができる。(言語についての知識・理解・技能)

4、単元の評価基準

国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能
積極的に辞書を引きながら、登場人物の描写を読み内容の理解に役立てようとしている。	文脈の中での語句の意味を的確にとらえ内容を理解している。 (ア) 登場人物の描写に注意して読み内容の理解に役立てている。 (ウ)	場面の展開や登場人物の描写で、事象や行為などを表す多様な語句について理解を深め、文章中の語彙に関心を持っている。 イ(オ)

5、単元の指導計画(全2時間)

時	主な学習活動	○ 指導上の留意点 ● 評価基準・評価方法
1	・学習のねらいを確認する。 (辞書を使いながら登場人物や場面についての自分の考えをまとめる。) ・本文を読む。(朗読CDを聞く) ・作品の表現(登場人物や・場面)について自分の考えを書く。	○ 登場人物に注目しながらCDを聞く ● 読む能力(ウ) (ワークシート)
2	・母親につて辞書を引きながら考える。	○ 辞書の複数の意味からふさわしいものを考える。 ○ 辞書の中の「表現便利帳」を活用して多

	<p>辞書でキーワードになる言葉を調べる。 (ワークシート)</p> <p>・調べたあとそれぞれの表現についてどう考えが 変化したかまとめる。</p>	<p>様な言葉を区別しながら考えさせる。</p> <p>●読む能力(ア)(オ) (ワークシート)</p> <p>●言語についての知識・理解・技能 (観察・ワークシート)</p> <p>●国語への関心・意欲・態度 (観察・ワークシート)</p>
3	<p>・自分の意見を述べ合い交流する。</p> <p>・主題を考える。</p>	<p>●国語への関心・意欲・態度 (観察・ワークシート)</p>